

1996年3月13日生 牡 栗毛
 父オペラハウス
 母ワンスウエド(父Blushing Groom)
 馬主/竹園正繼氏
 調教師/岩元市三(栗東)
 生産牧場/杵臼牧場
 通算成績/26戦14勝
 総取得賞金/18億3518万9000円
 主な勝ち鞍/00・01天皇賞(春)(G I)
 00有馬記念(G I)
 00ジャパンC(G I)
 00天皇賞(秋)(G I)
 00宝塚記念(G I)
 99皐月賞(G I)
 00・01京都大賞典(G II)
 00阪神大賞典(G II)
 00京都記念(G II)
 99毎日杯(G III)
 馬名の由来/冠名+父名の一部+王

年代別・性別ランキング 全世代から平均的に支持

●10代……………12位	●60代……………15位
●20代……………15位	●70代……………20位
●30代……………10位	
●40代……………12位	●男性……………12位
●50代……………15位	●女性……………19位

Voter's Voice
 年間無敗で古馬王道路線完全制覇は凄い(20代・男性)●“世紀末霸王”その名に相応しい彼こそが私の中の絶対王者です(50代・男性)●2000年の有馬記念は、何度も見返して元気を貰っています(20代・男性)●圧倒的な勝ち方ではないけれどギリギリでも最後に必ず勝ち切る根性が好き(20代・男性)●唯一無二の年間成績を残したテイエムオペラオーこそ第1位に相応しい馬だと思います(30代・男性)



和田竜二騎手とともに成し遂げた2つの業績
 テイエムオペラオーは二つの業績で、その名を競馬史に残す。一つ目は追加登録馬初のクラシック制覇という快挙だ。1999年、5番人気のテイエムオペラオーは接戦を制して皐月賞で優勝した。出走までに3回の特別登録が必要なクラシックレ

第 **13** 位 **20世紀最後を彩った絶対王者**
テイエムオペラオー
 12941 P
 前回11位
 2位DOWN

スだが、なんらかの理由で登録を見送るケースがある。そんな未登録馬にもクラシック出走の機会を与えようと導入されたのが追加登録制度だ。92年の導入以降、20頭あまりが200万円の追加登録料を支払ってクラシックに挑んだが、優勝することはできなかった。制度を生かし、初めて夢をかなえたのがテイエムオペラオーだった。

二つ目は20世紀最後の年、2000年の快進撃だ。4歳のテイエムオペラオーはこの年、5つのG Iと3つのG IIをすべて優勝するという完べきな走りを見せた。稼いだ賞金は10億3600万4000円。国内の年間獲得額で10億円を超えたのは、現在でもテイエムオペラオーただ1頭だ。当時と比べ賞金が増額された今年、もしテイエムオペラオーと同じ快挙を演じたら、その獲得賞金は18億円を超える。また8勝のうち5勝は2着とのタイム差がない接戦だった点も勝負強さを示すデータだ。8戦の合計で2着につけたタイム差は0秒9。6馬身にも満たない。

和田竜二騎手が全26戦で手綱を取ったこと、宿命のライバル・メイショウドトウと好勝負を演じたことも忘れられない。2頭は9度対戦し、テイエムオペラオーが7度先着した。6度目の対決で初めてメイショウドトウに先着を許したのはメイショウドトウが優勝した01年の宝塚記念であった。